

# X線装置が新しくなりました ～地域の皆さまに、より安心な検査を～

診療放射線科 室長 高橋 美樹



当院ではこの度、皆さまの健康を支える「目」ともいえる、放射線科のX線装置を一新いたしました。病院1階放射線室にある「X線撮影装置」と、病棟などへ移動して撮影を行う「移動式X線装置」です。

## ① 装置更新の背景

いつでも「確かな検査」を行うために…

これまで当院で使用してきた撮影装置は、長年にわたり多くの患者さんの診断を支えてきました。しかし、精密な医療機器には必ず耐用年数があり、経年劣化が生じます。

365日いつでも安心・安全な検査体制を維持するために、当院は最新の撮影装置への更新を導入いたしました。

## ② 日常の診療を支える「放射線室の撮影装置」



放射線室のX線装置は当院の日常診療において最も頻繁に使用されるものです。主に以下のような検査で活躍しています。

- 胸部、腹部撮影：肺の状態や心臓の大きさ、お腹のガスや結石の有無などを調べます。内科的な診断には欠かせない基本の検査です。

- 整形外科分野の撮影：骨折の有無はもちろん、関節の変形や骨の密度、脊椎の状態などを精細に描出します。新しい装置は、常に安定した条件下での撮影が可能です。

## ③ 現場へ駆けつける!「移動式X線装置」



もう一つの新しい主役が、移動式の撮影装置です。この装置の最大の特徴は、文字通り「装置が患者さんのもとへ行く」という点にあります。

通常、検査は設備の整った放射線室で行うのが理想的です。しかし、入院中で

寝たきりの方、救急搬送されてきた直後の方など、放射線室まで移動すること自体が大きな負担になってしまう場合、この装置で病棟や救急室へと向かい、撮影を行います。

## ④ 安全な医療を提供するための「ルール」

ここで一つ、皆さまにご理解頂きたい大切な点があります。

移動式X線装置は非常に便利ですが、当院ではその使用を「医師が移動困難と判断した必要最小限の患者さん」に限定しております。

これは、放射線防護（技師、周囲への安全）の観点からも、また装置の能力差の点からも、放射線室という管理が行き届いた専用の部屋で撮影することが最善だと考えているからです。私たちは常に「安全性」を最優先に考えて運用しています。

## ⑤ 放射線室スタッフの想い

どんな優れた装置であっても、それを扱うのは私たち人間です。放射線技師一同、新しくなった装置の特性を熟知し、丁寧でよりよい医療の提供を目指します。

新しくなった装置とともに、私たちはこれからも画像診断を通じて「来てよかった病院」を目標に地域の皆さまの健康と安心を支えてまいります。